

**令和4年度進捗評価シート**  
**大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）**  
（最終変更 令和3年3月15日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(豊町・長倉・桂城・有浦地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業	6
5 道路美装化整備事業	7
6 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 秋田犬情報発信拠点整備事業	12
11 大館神明社周辺環境整備事業	13
12 大館城下の町名標柱整備事業	14
13 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	15
14 歴史案内人育成事業	16
15 小・中学校社会科副読本作成事業	17
16 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	18
17 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	19
18 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	20
19 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	22
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	23
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	24
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 ハチ公生誕100年プロジェクト(2件)	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 民間主導まちづくり実行委員会の活動成果について	26
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	<b>27</b>

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

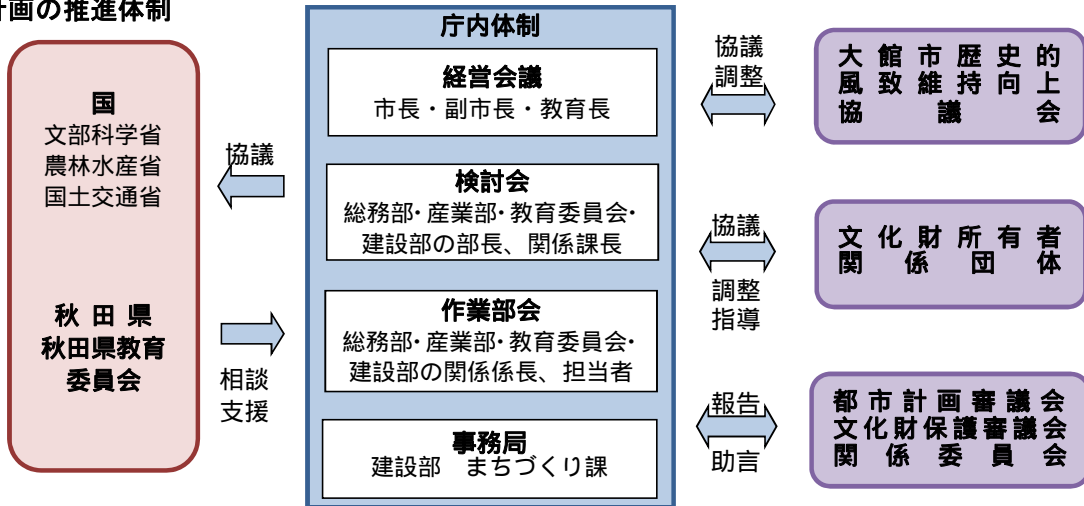
定性的・定量的評価(自由記述)

大館市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催した。令和4年度の取り組み状況や大館城跡発掘調査について報告ならびに大館城跡土塁修景整備計画と景観計画の策定について協議を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

	名称	開催日
1	歴史的風致維持向上協議会	令和5年3月20日
2	都市計画審議会	令和4年9月9日、令和5年3月24日
3	文化財保護審議会	令和5年3月24日
4	バリアフリーまちづくり推進協議会	令和5年2月3日
5	大館版mobiプロジェクト推進協議会	令和4年7月29日、令和4年8月19日、令和4年9月15日 令和4年11月22日、令和5年1月28日、令和5年3月28日



歴史的風致維持向上協議会  
(令和5年3月20日)



バリアフリーまちづくり推進協議会  
(令和5年2月3日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携		現在の状況  □実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容  
本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

地域の特色を活かした良好な景観の保全と創出を目指し、令和5年度から景観計画の策定に向け、関係機関等と意見交換を重ねて、令和5年3月20日開催の第10回歴史的風致維持向上協議会で策定方針やスケジュールの承認を得た。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

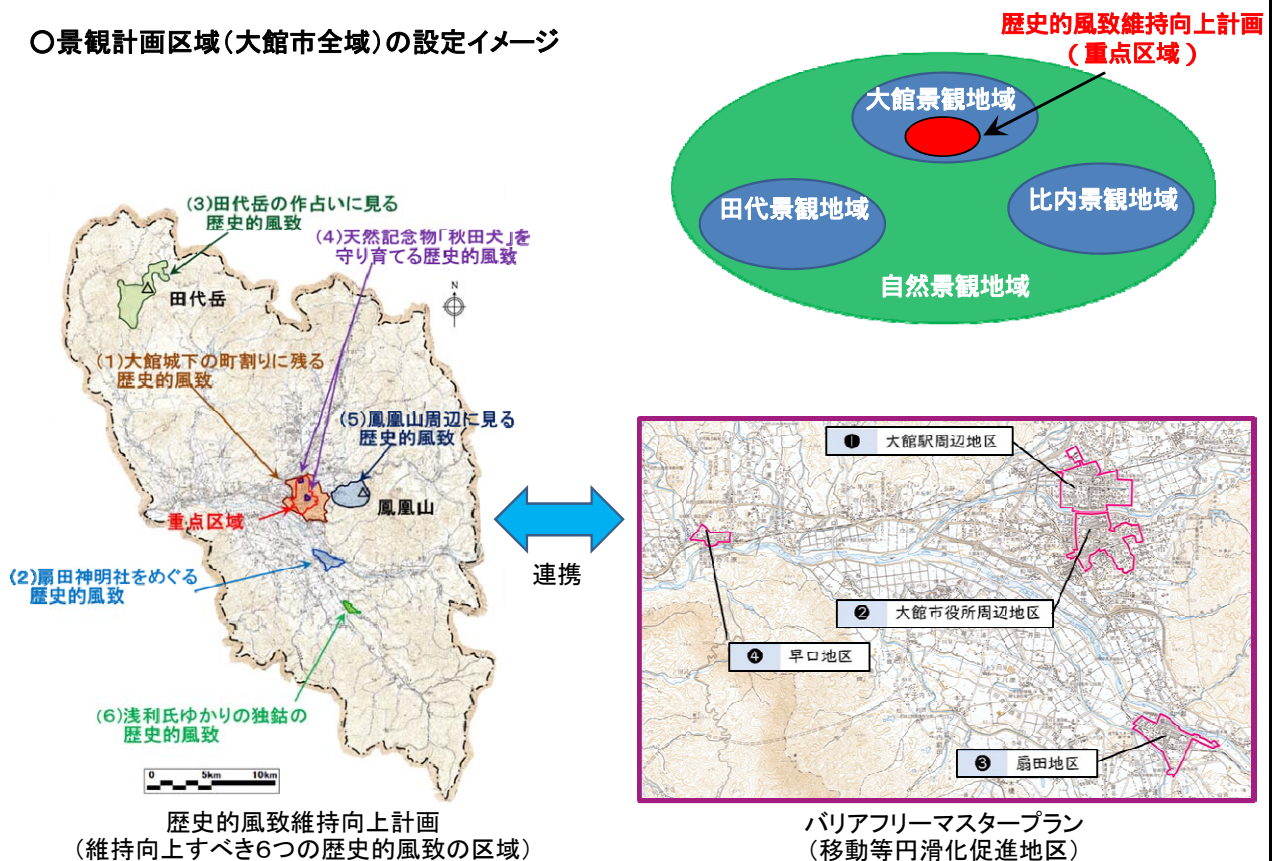
策定にあたり、地域住民と一緒に景観づくりに取り組み、景観に対する意識を高め誇りと愛着が持てるまちづくりを目指す。

状況を示す写真や資料等

○良好な景観を形成する施策の策定スケジュール

都市計画マスタープランの見直し	平成30年度策定完了
立地適正化計画	平成30年度策定完了
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の見直し	令和3年度完了
景観計画の策定と景観条例の制定	令和5~7年度予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	令和5~7年度予定

○景観計画区域(大館市全域)の設定イメージ



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館城本丸跡の修景整備を進めるにあたり、“歴史と未来が交差する水と緑の城址公園”の整備方針に基づき、堀と土塁の修景整備の実施設計を完了した。また、本丸跡にあるシロヤナギ周辺と隣接するハチ公銅像周辺の工作物について、修景整備を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

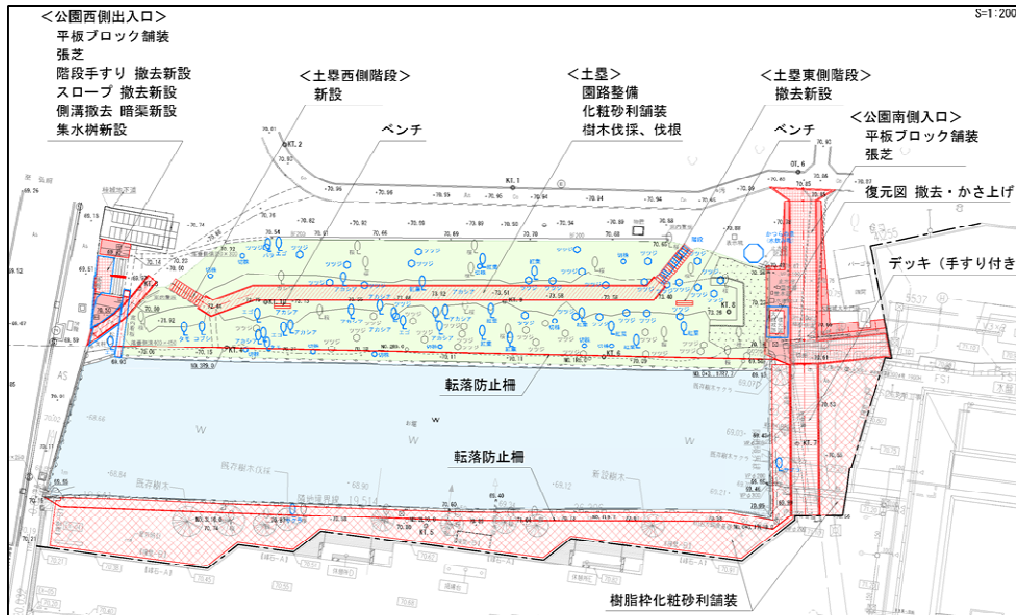
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

基本計画に基づき城址公園にふさわしい景観形成を目指すにあたり、市民や関係団体等と意見交換を積み重ね熟度を高める。

状況を示す写真や資料等

○大館城(堀・土塁周周辺部)の修景計画図

整備方針: 歴史と未来が交差する水と緑の城址公園



○本丸跡周辺の修景整備



シロヤナギ周辺  
(立入防止柵修景)



ハチ公銅像周辺  
(平板敷修景)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
一般国道7号(豊町・長倉・桂城・有浦地区)電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成29年度～令和3年度 上り線985m、下り線806m電線共同溝本体工事(管路)完了  
 令和4年度 上り線220m電線共同溝本体工事(管路)完了  
 令和5年度以降 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事【上り線】  
(着手前)



電線共同溝本体工事【上り線】  
(完了後)  
抜柱は次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成18年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容  
 主要地方道大館十和田湖線は、大館神社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

～令和3年度 令和4年度 令和5年度以降	上り線555.3m、下り線554.3m電線共同溝本体工事(管路)全線完了 下り線574.0m歩道融雪設備工事完了 上り線567.0m歩道融雪設備工事を推進
----------------------------	---

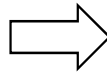
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線共同溝本体工事が全線完了しており、宅地乗入口の位置を関係者と確認しながら歩道新設工事を施行する。
--	--

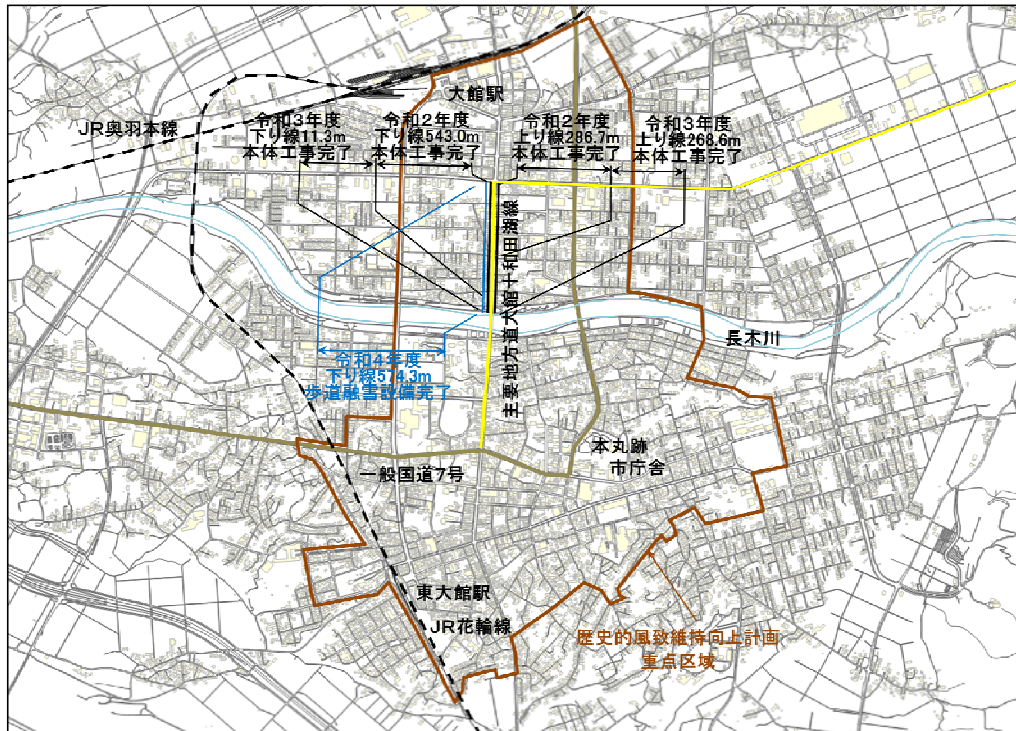
状況を示す写真や資料等



歩道融雪設備工事(着手前)



歩道融雪設備工事(完了後  
 抜柱は令和6年度以降に 施工予定)



無電柱化整備箇所(位置図)

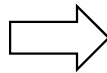
評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業			現在の状況  <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	無電柱化推進計画事業		
計画に記載している内容	主要地方道大館停車場線は、市の玄関口である大館駅に近接して、大館市観光交流施設「秋田犬の里」が整備されたことから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
～令和3年度 令和4年度 令和5年度以降	上り線298.0m、下り線182.8m電線共同溝本体工事(管路)完了 上り線133.0m、下り線140.0m電線共同溝本体工事(管路)完了 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進		
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

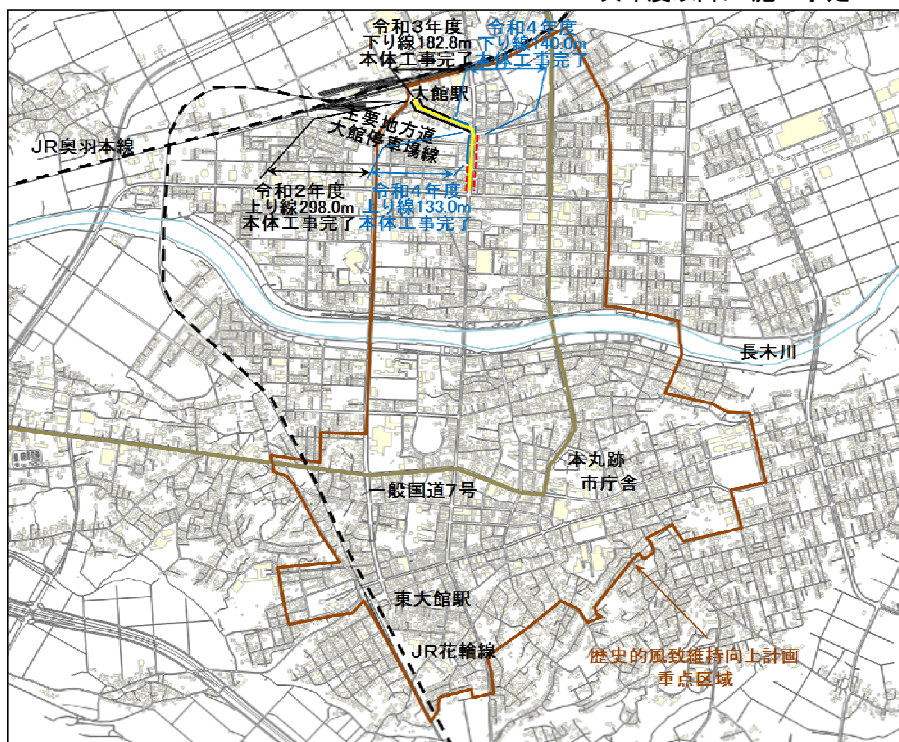
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)  
歩道部舗装の美化化及び抜柱は  
次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
道路美化整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
市単独事業

計画に記載している内容 大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美化化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

三ノ丸地区(L=176.1m)、神明地区(L=230.2m)の道路美化化について、良好な道路空間と景観を確保するため、道路の縦横断勾配を調整しながら、路面舗装の美化化を完了した。  
また、幸町地区の一部について、電柱の統合修景ならびに路側側溝の修景を完了した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

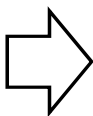
○路面美化化(三ノ丸地区・神明地区)



路面美化化完了(三ノ丸地区)



路面美化化完了(神明地区)



電柱の統合修景・側溝修景完了(幸町地区)  
路面美化化(令和5年度施工予定)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館城跡の桜の樹形維持のため、樹木医の判断を仰ぎながら、造園業者により剪定を行った。あわせて、地域の方が大事に守り育ててきたジャヤナギについて、同様に剪定を行った。  
また、樹齢200年を越すシロヤナギについて、強風で枝折れの対策として、支柱を設置した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

令和3年度に策定した桂城公園修景基本計画に基づき、城跡の桜について、老木が大多数を占めることから、樹種や捕植を含め、樹木医の意見を聞きながら保全に努める。

状況を示す写真や資料等

○大館城跡周辺の緑地保全



本丸跡にある桜の樹形整理、剪定作業



ジャヤナギの樹形整理、危険枝除去作業



シロヤナギ枝折れ対策支柱設置

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和3年度繰越事業において、駐車場舗装、木塀改修、平板敷工等の外構修景工事を完了した。なお、令和4年度は来館者数は前年度と比較し、約5%(244人)減少したが、貸館件数は13件増加した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

文化財である建物を広く公開するとともに、更なる多様な利用を促進を図る。

状況を示す写真や資料等

○外構修景工事(令和3年度繰越)



駐車場舗装工



木塀改修工・平板敷工



LED屋外灯設置



化粧砂利敷工

○来館者数(令和4年度)

	来館者(見学者+貸館使用者)					開館 日数	休館 日数	平均	貸館 件数
	市内	県内	県外	海外	計				
4月	410	393	75	0	878	26	4	34	3
5月	128	47	128	0	303	27	4	11	3
6月	331	171	91	0	593	26	4	23	13
7月	146	73	43	0	262	27	4	10	5
8月	123	34	122	1	280	26	5	11	2
9月	125	38	77	0	240	26	4	9	2
10月	369	85	109	0	563	26	5	22	5
11月	455	75	141	4	675	26	4	26	4
12月	15	7	27	2	51	24	7	2	0
1月	29	20	20	0	69	24	7	3	2
2月	63	10	52	0	125	24	4	5	4
3月	62	25	73	2	162	27	4	6	2
計	2,256	978	958	9	4,201	309	56	14	45
割合	53.7%	23.3%	22.8%	0.2%					

令和3年度との実績の比較は、来館者4,445人(△244人)、貸館32件(13件増)

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大館神明社保存補修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述)

例祭の舞台となる拝殿の正面や両脇にある防犯シャッターは、経年劣化により錆が浮き出て開閉が困難な状況であるため、防錆処理した後に、塗装を施し建造物の修景を行った。

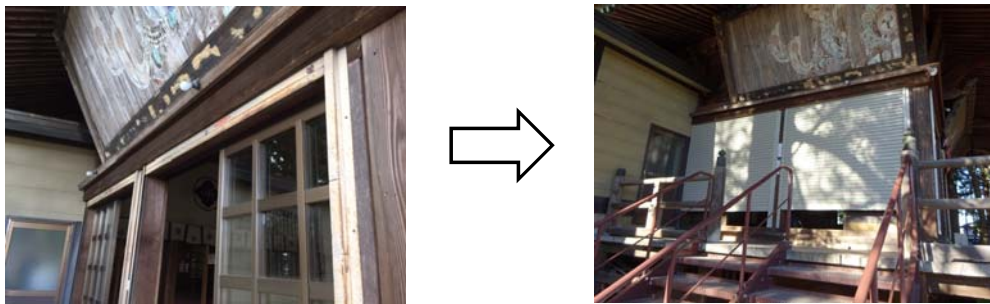
進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

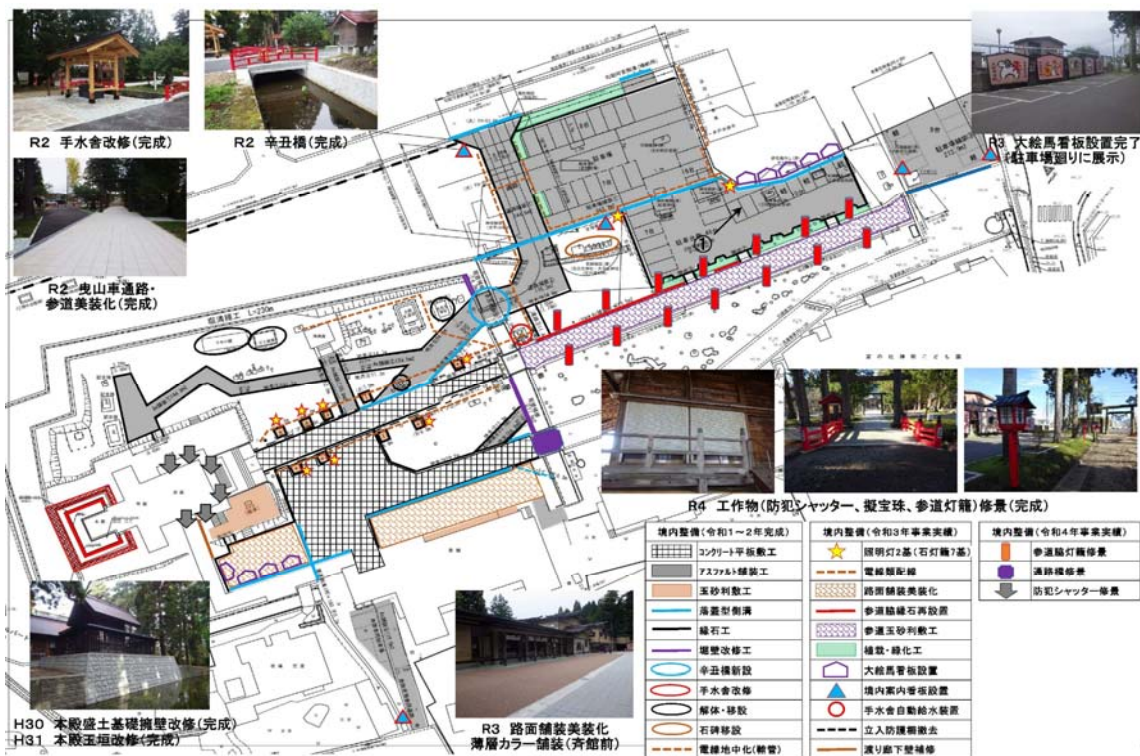
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○拝殿の防犯シャッターの修景



拝殿南側防犯シャッターの修景



大館神明社350年記念例祭に向けた建造物保全及び境内修景実績図

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史的町なみ調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業 市単独事業

計画に記載している内容  
 城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。  
 歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)  
 平成30年度にヘリテージマネージャーの資格を修得した会員で構成する「大館歴史的建造物研究会」は、引き続き歴史的建造物調査やスキルアップ講座などの活動を行った。  
 ・歴史的建造物実態調査(1地区)、歴史的建造物詳細調査(1件)、歴史的建造物報告書作成(1件)

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ヘリテージマネージャー養成講座で、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進に向け、引き続き一緒に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

○大館歴史的建造物研究会(活動実績)

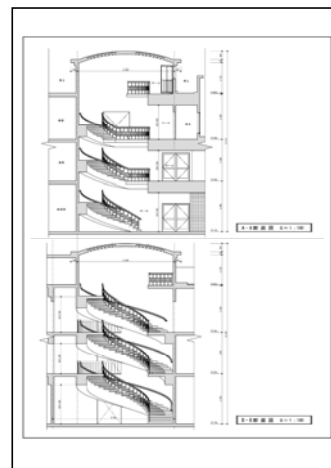
	活動日等	調査等場所	活動内容
1	令和4年5月21日～ 令和4年6月11日	大館中央地区	地域別歴史的建造物調査 (96軒)
2	令和4年7月2日	東大館駅舎	歴史的建造物詳細調査 (活用ワーキンググループ参画)
3	令和5年2月4日	会場: プラザ杉の子	建築士会全国大会報告会開催 (歴史まちづくりの取り組み紹介)
4	※令和3年8月28日 (前年度調査)	旧市庁舎(西棟ホール)	歴史的建造物詳細調査 ※令和4年度に報告書作成



東大館駅舎活用ワーキンググループ  
令和4年8月30日



建築士会全国大会報告会  
令和5年2月4日(約30人参加)



歴史的建造物詳細調査報告書「大館市役所旧庁舎(西棟ホール)」

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
秋田犬情報発信拠点整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助)  
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市観光交流施設「秋田犬の里」に、多くの市民や来訪者が訪れた。(来場者数132,545人)  
また、忠犬ハチ公の慰霊祭(4月8日渋谷区、5月8日大館市)と生誕祭(11月13日)を開催した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○忠犬ハチ公生誕祭の開催(令和4年11月13日)



ハチ公銅像への献花  
(生誕99年を迎えたハチ公)



ハチ公トーク  
(忠犬ハチ公銅像及び秋田犬群像維持会 富樫会長)

○秋田犬セミナー(フランス・パリ)



パリで秋田犬の魅力を伝える福原市長  
(パリ日本文化会館)

○歴まちカード贈呈式(令和4年10月31日)



「忠犬ハチ公と秋田犬のふるさと 大館市」  
配布場所: 秋田犬の里、大館市桜櫓館

○大館市観光交流施設「秋田犬の里」来場者数

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
来場者数	9,023	13,497	9,518	9,916	15,713	17,015	14,728	11,865	6,599	5,964	8,233	10,474	132,545

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大館神明社周辺環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えるとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

境内の参道にある灯笼19基について、経年劣化により色褪せが目立つことから、下地塗装と文字入れの修景を行った。あわせて、参道にかかる橋の高欄もとそうを施すとともに擬宝珠を改修し、景観の向上を図った。曳山車通路の整備が完了したことに伴い、約半世紀ぶりに境内に曳山車が集結しての例祭余興奉納奉告祭の開催が実現した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○境内工作物の修景(完成)



参道脇灯笼の修景



参道己丑橋の修景

○例祭余興奉納奉告祭の開催



大館神明社例祭余興奉納奉告祭  
(約半世紀ぶりに境内で開催)

令和4年9月10日

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
大館城下の町名標柱整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
市単独事業

計画に記載している内容 大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。  
まち歩きの見学性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成28年度より整備を進めているところでも博物館(史跡標柱)と連携を図り、大館城下に残る町名や地名5箇所、歴史的建造物3箇所、巨木2箇所及び名所2箇所に標柱を設置した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	--------------------------

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

大館城門跡や歴史的建造物等に設置した標柱を市民や来訪者が楽しんで巡る歴まち散歩ルートを設定する。

状況を示す写真や資料等

○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③QRコードより詳細説明文、多言語翻訳及び写真等の情報を提供
- ④WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載



○令和4年度標柱設置箇所

NO.	標柱名称
81	十狐町
82	川原町
83	中川原町
84	通町
85	羽州街道
86	一心院
87	シロヤナギ
88	ジャヤナギ
89	麓家住宅
90	乳安商事株式会社本社
91	相馬大作事件之地
92	矢立峠

○どこでも博物館ホームページ(一例)



NO.90(乳安商事株式会社)  
水彩画 田村まさよし氏 提供

嘉永5年(1852年)の第二内蔵を買い取り、明治20年に商いが始められました。第二内蔵は貫の構造と自然な曲線を描く梁が掛けられ、170年の歴史の重みが残されています。通りに面して大正5年に土蔵2階建ての店舗が建築され、順次事務所兼住宅が増築されました。第一内蔵の建築年代は不明ですが、土蔵2階建ての内蔵は、重厚な漆喰の扉があり、建築当時の姿を残しています。雨臥(あまが)下トイレの便器やタイル、住居2階の洋室は、大正時代の印象的なデザインが施されています。内蔵のある建築としては、現在に残る数少ない貴



左:QRコード  
どこでも博物館の  
ホームページとリンク

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

歴史的建造物等の保全活用の手法を習得したヘリテージマネージャーで構成する大館歴史的建造物研究会が、令和元年度から継続して市域全域にある歴史的建造物の簡易調査が完了した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

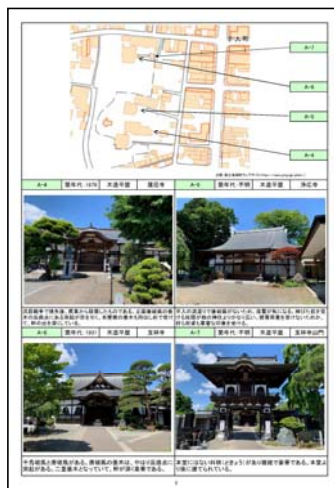
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今後、所有者等の把握ならびに同意を得られた建造物をホームページでの公表を検討している。あわせて、建造物所有者等にアンケートを行い、課題等を把握する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○歴史的建造物調査(大館歴史的建造物研究会)

	年度	調査範囲	調査件数					計
			寺社	住宅	店舗	倉庫・蔵	その他	
1	令和元年度	比内地域	13件	34件	1件	6件	3件	57件
2	令和2年度	田代地域	13件	25件	1件	3件	3件	45件
		大館西地区	5件	8件	0件	1件	0件	14件
		大館南地区	4件	9件	0件	2件	0件	15件
3	令和3年度	大館北地区	5件	8件	0件	1件	0件	14件
		大館東地区	4件	9件	0件	2件	0件	15件
4	令和4年度	大館中央地区	25件	52件	5件	7件	7件	96件
	計	7地区	69件	145件	7件	22件	13件	256件



令和4年度 歴史的建造物地域別調査報告書  
「大館中央地区」



評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歴史案内人育成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
出前講座や小学生の地域体験学習、高校生の職場体験及び大学生のインターンシップ等の要請にあたり、研修内容に歴史まち散歩を企画し、大館の魅力伝える大切さをPRした。			
進捗状況		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○出前講座等の開催(大館市の歴史まちづくり)



有浦小3年生校外学習(庁舎5階展望ロビー)  
(令和4年5月30日)



鉄砲場町内会敬老会出前講座  
(令和4年10月28日)

○ガイドウォークの開催

国指定天然記念物 長走風穴高山植物群落

ながばしりふうけつ

## 長走風穴 ガイドウォーク

夏でも涼しい不思議な山で、  
かわいい高山植物を観察しましょう！  
5月に認定・登録されたばかりの  
林業道産(風穴2号・3号倉庫)も見学します。

と き : 6月18日(土)、7月23日(土)  
10時30分～11時30分

と ころ : 長走風穴(大館市長走字長走362-6)

参加料 : 無料

定 員 : 10名程度(先着)

申 込 : 長走風穴館で、当日10時から受け付けます。

その他 : 動きやすい服装、はき慣れた靴でご参加ください。  
雨天時は、長走風穴館内をご案内します。

お問い合わせ : 長走風穴館 (TEL 0186-51-2005 6月～8月無休)

主催 : 大館郷土博物館 (TEL 0186-43-7133 月曜休館)



2022年5月20日  
林家温泉に  
なりました！



長走風穴R.P





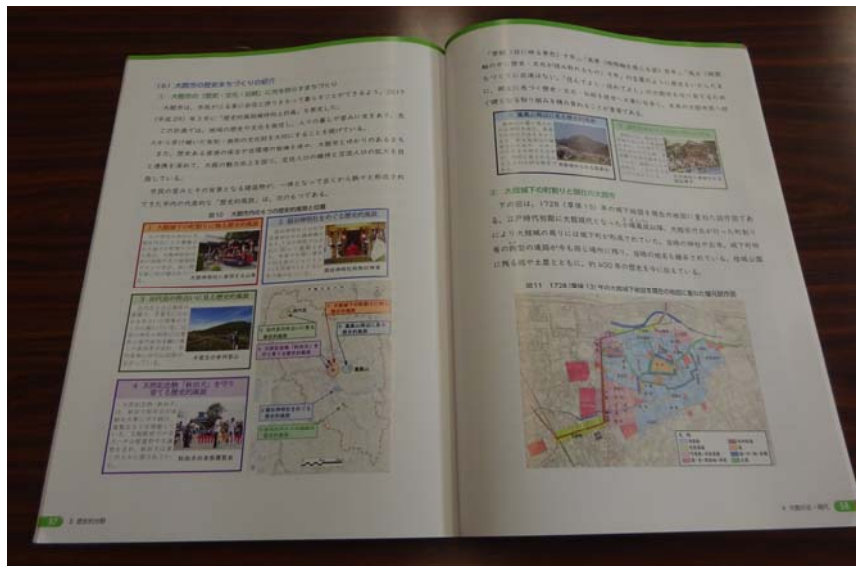
上: 県指定有形文化財 鳥潟会館ガイドウォーク  
令和4年11月3日  
(参加者15人)

左: 国指定天然記念物 長走風穴高山植物群落  
(リーフレット)

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
小・中学校社会科副読本作成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和43年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
平成29年4月に発行した中学校社会科郷土資料「わが郷土 大館市」について、中学校社会科郷土資料編集委員会を組織し、ふるさとキャリア教育に活用できる資料としてなどの編集方針に基づき、令和4年4月1日に全面改訂を行い、中学生に配布した。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



中学校社会科郷土資料「わが郷土 大館市」  
(11版 令和4年4月1日 全面改訂)  
左:表紙 右:歴史まちづくり関連ページ

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和59年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業・地域文化財総合活用推進事業 伝統文化親子教室事業(地域展開型・教室実施型) 市単独事業

計画に記載している内容  
 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述)

民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」の大館神社例祭余興奉納実行委員会は、令和4年度に記録作成事業で大館神社例祭余興奉納行事を収録・編集したPR動画をホームページで公表した。あわせてDVDを作成し、次世代を担う子どもたちに継承するため市内の小中学校に配布した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度～令和4年度(5か年)の取り組みについて、評価を行うとともに成果等を広く周知する。また、参加団体の募集を継続する。

状況を示す写真や資料等

○地域文化財総合活用推進事業(令和4年度活動実績)

団体名	活動事業名	事業区分	令和4年度活動実績
大館・北秋田建築士会	ヘリテージマネージャー育成(人材育成)	人材育成	スキルアップ講座
大館神社例祭余興奉納行事実行委員会	大館囃子教則映像記録・大館神社例祭記録映像(記録作成)	記録作成	神社例祭余興奉納PR動画作成 大館囃子奉納の踊りDVD作成
大館ばやし保存会	大館囃子講習会開催(後継者養成)	後継者養成	講習会の開催



大館神社例祭余興奉納行事PR動画(抜粋)  
 (大館神社例祭余興奉納実行委員会作成)

評価軸③-17  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和4年度地域応援プランにおいて、採択された3団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(令和4年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動テーマ
活動支援	大館	長木	上代野町内会	旧岱野駅周辺整備・環境美化による、ドーム周辺緑地、樹海公園、桜並木等と一体となった名所の創造。(「あじさいレールロード10年プラン」)
		比内	東館	駒橋会
計画支援	田代	越山	越山げんき会	越山地区の“自然・歴史・文化”など宝の掘り起こしと、宝と道をつなぎ合わせることによる「トレイルの里」づくり



上段: 地元長木小学校歓迎演奏(鳳凰太鼓)  
 下段: 旧小坂鉄道シンポジウム  
 (上代野町内会)

上段: 水車の組立製作  
 下段: 水車の現場設置  
 (駒橋会)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国・海外から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬保存会主催の第145回秋田犬本部展覧会は、令和4年5月3日に大館城本丸跡の桂城公園で開催した。展覧会には、国内外から185匹が出陣し、秋田犬特有の容姿などを競った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

大館城本丸跡の修景整備にあたり、歴史ある秋田犬本部展覧会に相応しい舞台となるよう秋田犬保存会と意見交換を重ねる。

状況を示す写真や資料等

○第145回秋田犬保存会展覧会の開催



第145回秋田犬本部展覧会  
(大館城本丸跡/桂城公園)  
令和4年5月3日

○課題となっている秋田犬保存会員数や犬籍登録数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1月	220	413	324	83	150
2月	424	629	401	100	201
3月	548	949	413	243	391
4月	1,705	1,336	65	540	715
5月	2,904	1,850	0	859	1,559
6月	2,290	1,144	502	717	1,114
7月	2,174	964	783	725	829
8月	3,593	1,943	936	863	1,319
9月	2,010	1,174	966	628	1,036
10月	2,003	1,307	992	723	1,338
11月	1,302	941	1,030	596	909
12月	518	360	319	173	379
計(人)	19,691	13,010	6,731	6,250	9,940
増減	93.9%	-33.9%	-48.3%	-7.1%	59.0%

秋田犬博物室の観覧者数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
国内	2,541	2,591	2,312	2,450	2,185
海外	2,284	1,519	1,279	1,019	1,035
計	4,825	4,110	3,591	3,469	3,220
増減	-27.7%	-14.8%	-12.6%	-3.4%	-7.2%

秋田犬保存会会員数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
国内	2,460	2,500	2,590	2,616	2,751
海外	612	606	519	436	434
計	3,072	3,106	3,109	3,052	3,185
増減	2.6%	1.1%	0.1%	-1.8%	4.4%

秋田犬犬籍登録数の推移

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 伝統的工芸品の「大館曲げわっぱ」の製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの材料として提供し、大会のレガシーとともに返却された木材を活用し製作した遊具を備え、“小さな小さなオリンピックスタジアム”をコンセプトで整備した「子どもの遊び場」が令和4年12月にオープンした。

大館市北秋田流域林業成長産業化協議会は、森林資源の最大活用と資源循環の確立による“森林資源の「循環の輪」の創造”を基本理念とし、森林・林業・木材産業によるグリーン成長を目指し、令和5年2月に「グリーン成長構想」を令和5年2月に策定した。

進捗状況

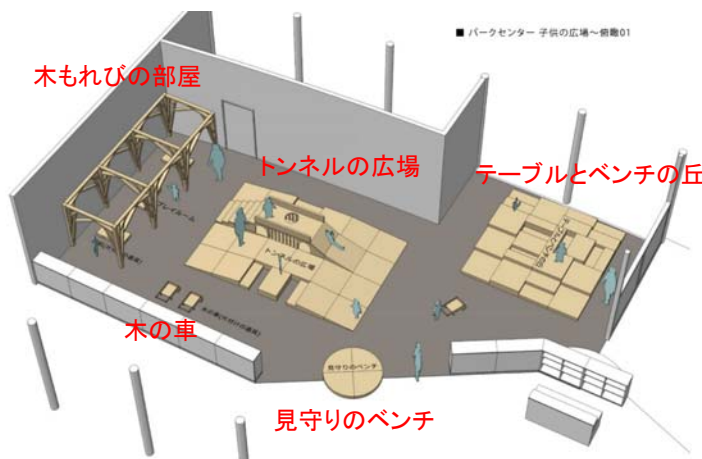
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

秋田杉桶樽のみならず曲げわっぱなどの地域産材を海外発信・販路拡大につながる仕組みを検討したい。

状況を示す写真や資料等

○子どもの遊び場



コンセプト“小さな小さなオリンピックスタジアム”(子どもの遊び場)



ビレッジプラザの“レシプロカル架構”をイメージ 木もれびの部屋(ミニビレッジプラザ)

○大館北秋田地域林業成長活性化協議会



グリーン成長構想



秋田杉味噌桶麴蓋 英訳カタログ作成

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など		現在の状況  <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述)

・鳥潟会館庭園名勝地調査委員会を開催し、調査報告書の作成に向けて最終的な内容確認と指示を受け、報告書を完成させた。  
 ・令和4年6月25日～26日に第17回文化財庭園フォーラムを開催し、鳥潟会館庭園の剪定技術見学会やシンポジウムを行い、庭園の文化財価値や魅力を発信した。  
 ・無形民俗文化財については、大館囃子奉納踊りDVDを製作して小中学校向けに踊りの講習会を開催したほか小中学校へDVDを寄贈した。また大館神明社余興奉納PR動画を作成した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・文化財の維持管理には多くの資金が必要で、所有(管理)者の負担も大きい。それだけに天然記念物の再生や、新たな重文を目指す取り組みには、多くの市民の理解や応援が必要であり、社会に還元するための活用にも考慮する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○鳥潟会館庭園の国名勝指定への取り組み

鳥潟会館庭園名勝地調査委員会開催(第5回)  
 ・令和4年6月26日  
 調査報告書案の修正内容を報告



第5回調査委員会  
 令和4年6月26日(鳥潟会館)

○第17回文化財庭園フォーラムの開催  
 (文化財庭園保存技術者協議会主催)



剪定技術見学会(鳥潟会館庭園)  
 令和4年6月25日  
 (約60人見学)



庭園フォーラム(ほくしか鹿鳴ホール)  
 令和4年6月26日  
 (約110人聴講)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
・鳥潟会館表門の屋根棟木が経年劣化したため、修繕を行った。 ・重要文化財八幡神社ならびに国登録有形文化財桜櫓館において、文化財防火デーに消防訓練を行った。八幡神社では関係者や近隣の消防団員などが参加して、いざというときに迅速な対応ができるように実施確認した。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復などを行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。		

状況を示す写真や資料等

○鳥潟会館表門の修繕



修繕作業状況(足場設置)

○文化財防火デー防火訓練



重要文化財八幡神社  
(令和5年1月26日)



国登録有形文化財桜櫓館  
(令和5年1月26日)



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・大館郷土博物館の企画事業等を4回開催した。(1,783人)
- ・出前講座を含む各種講座を5件企画し開催した。(96人)
- ・第9回全国風穴サミットin大館プレ企画(令和4年8月28日)及び第9回全国風穴サミットin大館の開催(令和5年1月28日～29日)に協力した。
- ・大館城跡発掘調査を継続し、旧庁舎跡の発掘調査見学会(令和4年10月29日)を開催した。また試掘・確認調査(計5箇所)を実施した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
- ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、現地開催を主としながら、あわせてオンライン開催を組み入れるなど工夫して普及・啓発に努める必要がある。
  - ・市内には、未発見の埋蔵文化財包蔵地がまだ多く存在する可能性があるため、踏査や試掘などにより、さらなる埋蔵文化財包蔵地の分布の把握に努めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館郷土博物館(企画事業・講座名)

	企画事業名	開催期間	入場者数
1	昭和・平成ロマン派 日本画展	令和4年7月16日～ 令和4年8月28日	553人
2	無料開放デー(文化の日)	令和4年11月3日	41人
3	おひなさま展	令和5年2月10日～ 令和5年10月17日	989人
4	おひなさま茶会	令和5年3月5日	200人

○大館郷土博物館(各種講座)

	各種講座名	開催日	参加人数
1	ふるさと歴史講座 大館の遺跡	令和4年5月11日	37人
2	長走風穴ガイドウォーク	令和4年6月18日・ 令和4年7月23日	6人
3	ふるさと歴史講座 羽州街道について	令和4年9月21日	20人
4	鳥潟会館ガイドウォーク	令和4年11月3日	15人
5	ふるさと歴史講座 大館の遺跡	令和4年11月17日	18人



大館城跡発掘調査見学会(旧庁舎跡)  
 令和4年10月29日  
 (約60人見学)

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ハチ公生誕100年“プロジェクトが始動”	令和4年8月9日	北鹿新聞
ハチ公生誕100年“本庁舎に横断幕登場”	令和4年9月15日	北鹿新聞

定性的・定量的評価(自由記述)

渋谷駅のシンボルとして世界中に愛されるハチ公銅像。そのモデルとなった秋田犬のハチは、1923年に生まれ、令和5年(2023年)に生誕100年を迎える。ハチ公がつないだ「大館」と「渋谷」は、令和4年5月に交流促進協定を締結した。生誕100年を渋谷区と一緒に祝いするプロジェクトを開始した。そのプロジェクトと一緒に盛り上げてくれるハチ100パートナーとして、多くの企業や団体から賛同を得て参画いただいている。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



ハチ公生誕100年“プロジェクトが始動”  
(令和4年8月9日 北鹿新聞)



ハチ公生誕100年“本庁舎に横断幕登場”  
(令和4年9月15日 北鹿新聞)

歴史まちづくりに関連した報道記事(北鹿新聞)

- ・令和4年 4月 3日 石田ローズカフェ“洋の迎賓館”に開店
- ・令和4年 4月 28日 市役所親水広場「気軽にどうぞ」
- ・令和4年 5月 4日 秋田犬本部展覧会「国内外の185匹参集」
- ・令和4年 5月 8日 渋谷区と交流促進協定締結「ハチ公縁に交流促進」
- ・令和4年 6月 15日 比内町扇田「みのむし会」が発足“蓑虫山人を知って”
- ・令和4年 6月 24日 文化遺産まちづくり実行委員会開催
- ・令和4年 7月 3日 半夏生の田代岳作占い「平年以上」のご託宣
- ・令和4年 7月 15日 桜櫓館保存事業終了「和の迎賓」積極活用
- ・令和4年 8月 9日 ハチ公生誕100年“プロジェクトが始動”
- ・令和4年 8月 21日 五色湖エリア整備“田代ならではの魅力を”
- ・令和4年 9月 5日 3年ぶりの花火と「大」競演に拍手と歓声
- ・令和4年 9月 11日 大館神社例祭余興奉納奉告祭“境内に曳山車集う”
- ・令和4年 9月 15日 ハチ公生誕100年“本庁舎に横断幕登場”
- ・令和4年 10月 2日 暮らしつなぐ「モビ」始動“来年2月まで実証運行”
- ・令和4年 10月 30日 大館城跡発掘調査現地説明会「出土遺構示し解説」
- ・令和4年 11月 28日 秋田広域観光フォーラム開催「広域連携の在り方探る」
- ・令和4年 12月 23日 子どもの遊び場オープン“木製おもちゃ、遊具充実”
- ・令和5年 1月 30日 歴史まちづくり「城跡の修景整備に着手」
- ・令和5年 2月 4日 バリアフリーまちづくり「特定事業計画を策定」
- ・令和5年 3月 22日 歴史的風致維持向上協議会「城跡掘土壘修景整備計画を承認」

項目

民間主導まちづくり実行委員会の活動成果について

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年に民間4団体で設立した「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」によるソフト事業の取り組みは、令和4年度で5か年が経過した。  
地域文化財の情報発信、人材育成、普及啓発、記録作成及び後継者養成の多岐に渡る取り組みにより、ハード事業と一体となり重層的な歴史まちづくり事業の推進が図られた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし

平成30年度～令和4年度(5か年)の取り組みについて、評価を行うとともに成果等を広く周知する。また、参加団体の募集を継続する。

状況を示す写真や資料等

○民間主導まちづくり実行委員会の活動(平成30年度～令和4年度)

	活動事業名 (事業区分)	平成30年度活動実績	令和元年度活動実績	令和2年度活動実績	令和3年度活動実績	令和4年度活動実績
1	文化遺産ホームページ作成 (情報発信)	ホームページ 概要版作成	ホームページ 英語版作成	ホームページ 中国語版作成		
2	文化遺産パンフレット作成 (情報発信)	文化遺産リーフレット 概要版作成	リーフレット作成 (英語版・中国語版)	作成済のリーフレットを ホームページに掲載		
3	ヘリテージマネージャー育成 (人材育成)	養成講座13回開催 26人資格修得	スキルアップ講座 シンポジウム開催	スキルアップ講座 工事現場研修会開催	スキルアップ講座 桜櫓館耐震改修報告	スキルアップ講座
4	秋田の祭囃子シンポジウム開催 (普及啓発)	祭囃子シンポジウム開催 30人参加	祭語り講演会開催 40人参加	※コロナ禍で企画中止		
5	大館囃子教則映像記録・ 大館神明社例祭記録映像 (記録作成)	大館囃子映像記録 DVD作成			神明社祭典各講独自の 伝承曲を収録LCD製作	神明社例祭余興奉納PR 動画作成 大館囃子奉納の踊り DVD作成
6	大館囃子講習会開催 (後継者養成)	講習会9回開催 370人参加	講習会9回開催 422人参加	※コロナ禍で講習中止	講習会の開催	講習会の開催

○活動実績により得られた効果(記録作成事業)

記録作成事業

事業名/実施年度

大館囃子教則映像記録事業 / H30年度

事業概要

大館囃子は市指定無形民俗文化財であるが、少子高齢化や後継者不足の問題を抱えている。後世へ正確に継承するために大館囃子の教則映像を作成する。令和元年度以降においては、ホームページ作成事業と関連してページの磨き上げを行う。

事業実施により得られた効果

記録作成を実施することで、後継者養成の取り組みにおいて、講師のスケジュールにとらわれず演奏指導を行えるという効果があり、指標としていた記録映像の貸し出し等回数についても目標値25回の3.5倍となる86回となった。

今後の活動見込・方針

教則映像を引き続き講習会等で使用し、参加へのハードルを下げることで新たに大館ばやしに取り組みたいと考える初心者層の獲得につなげたい。また、ホームページに公開した映像を活用し、遠方からの例祭余興奉納行事参加者増を目指したい。

その他実施した事業

- ・大館神明社例祭各講伝承曲CD制作事業 (R3年度)



